

# 大曲高等学校 校舎棟建設工事 工事だより



『 5月も終盤、初夏を経て梅雨入りが近づいてきました 』

朝晩の気温差の開きも大きく、日中は30℃に迫るような日々が続いております。

爽やかな時期は思いのほか短く、今度は梅雨模様の季節へと移っていきますね。

季節の変わり目は体調を崩しやすいものです。コロナ禍中ということもあり中々落ち着きませんが、日々の健康管理にも気をつけて過ごしていきたい今日この頃です。



『 工事現場の進捗の様子をご紹介します 』

4月に掘削工事を終えて、5月に入ってから基礎工事が順調に進んでいます。

当工事の基礎は鉄筋工事・型枠工事・コンクリート打設工事から成り立っています。

建物を下から支える重要な基礎工事、各工種の様子を写真にてお伝えいたします。



## ①鉄筋工事（基礎配筋）

鉄筋材を1本1本組立て、ベース・柱・地中梁等からなる骨組みを作っていきます。鉄筋は引張りに強く、コンクリートの弱点を補います。



## ②型枠工事（基礎型枠）

木製のパネルと締付け金具等から構成されたコンクリートを流し込む為の型を作ります。こちら職人さんが全て手作業で取付けます。



## ③コンクリート工事（基礎コンクリート打設）

鉄筋と型枠が完成した状態で生コンクリートを打設します。ポンプ車を使用し圧送します。



## ④コンクリート工事（基礎型枠解体）

コンクリート打設後、適切に養生し型枠を解体します。頑丈な基礎の完成です。



基礎ができるまでの流れを簡単に説明しましたが、コンクリート打設までの間には実に様々な検査や立会確認を受け、合格した後、コンクリート打設に至っています。

鉄筋の本数や間隔、取付の状態や形状の確認、型枠が取付くと寸法が図面通りか、建込みの精度や位置は良いか、できあがったコンクリートの寸法の計測等…しっかりと確認を行い、品質の向上に日々努めています。



### 『 熱中症防止への取り組み 』



最近気温の高い日が続いています。

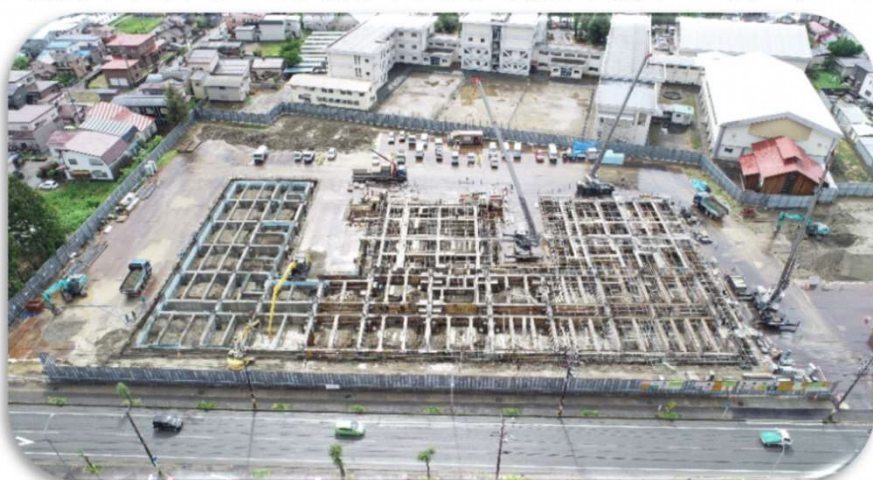
当作業所では暑さ指数温度計と危険度表示看板を設置し、熱中症防止を呼び掛けています。

単純に気温だけでなく湿度や日差しの違いをも考慮して、熱中症予防につながるのが暑さ指数（WBGT）です。具体的な数値を見える化することで、危険度を意識し対策することができます。暑さ指数を活用して、こまめな水分補給と休憩で熱中症を防止しましょう。



### 『 上空からの様子 』※ドローンにて撮影（R4年5月末時点）

基礎工事も進みコンクリートの打設も残りわずかとなってきました。建物の輪郭もはっきりと見えてきていることが分かります。今後は埋戻し・土間工事へと進んでまいります。



当工事だよりは建築工事JVで執筆しています。  
お気づきの点等ありましたら下記までご連絡ください。

大曲高等学校校舎棟（建築）工事 作業所  
連絡先：代表 ☎ 0187-73-8190

工事車両の出入り等で近隣の皆様にはご迷惑をおかけしているところではありますが、引き続き工事へのご理解とご協力をお願い致します。

